趣意書

日本ホスピス・在宅ケア研究会は1992年に設立され、ホスピスケアや在宅ケアの理念と実践を広めることを主な目的としています。従来は、がんの痛みや苦しみを患者に我慢させ諦めさせていました。それに対して、ホスピスケアはどんな時でも患者さんを見捨てないで支えていくための全人的なプログラムです。私たちは、すべてのがん患者さんが温かいホスピスケアや緩和ケアを受けることができるよう情報発信・研究活動につとめています。

また、人生の最後の時間を住み慣れた自宅で過ごしたいという希望は多いと思います。しかし、介護保険下でも十分と言いがたく、一部の人しか自宅で最後まで過ごすことができません。私たちは快適で安らかな、十分に支援された在宅ケアが、いつでもどこでも誰にでも提供されるよう、さまざまな活動を展開していきたいと願っています。

このように、私たちの活動の対象は、末期がん患者や認知症、高齢者・障害者などの社会的弱者、及び彼らを支える人々です。私たちは、ホスピスケアや在宅ケアの理念、より豊かな「生・老・病・死」を目指して、さまざまな方向から医療・介護・福祉専門職、各界研究者、その他の専門的立場の者と患者・市民が集い連携して、それらの課題に取り組んでいます。

これまでに私たち、日本ホスピス・在宅ケア研究会は、さまざまな活動を行ってきました。それには、がん患者への働きかけ、情報発信活動、総会、研究会、講演会、がん入門講座、および出版活動があります。研究会雑誌「ホスピスケアと在宅ケア」を年3回発行し、それは第1巻～第12巻に至っています。また、年に6回会報（ニューズレター）を発行しています。研究会が編集をしたり、会員が記した著書も数多く出版されています。これらの研究会の会員は、各地の施設や在宅におけるホスピスケアや在宅ケアの実践者です。全国のそれらの実践者が一堂に集うのが全国大会です。

1993年	第1回	神戸	当初参加延べ数	500名
1994年	第2回	神戸		
1995年	第3回	高崎		
1996年	第4回	高松		
1997年	第5回	岐阜		
1998年	第6回	山梨		
1999年	第7回	岡山		
2000年	第8回	横浜	2,500～3,000名	(介護保険スタート)
2001年	第9回	大阪		
2002年	第10回	福岡		
2003年	第11回	神戸	7,800名	(震災から8年、一般演題100題)
2004年	第12回	福島	6,000名	
2005年	第13回	広島		
2006年	第14回	神戸		(広めるから深める、緩和医療学会と同時開催)
2007年	第15回	飛騨高山	3,500名	
2008年	第16回	千葉	7月11日(教育セミナーのみ)、7月12日、13日に開催。	

日本ホスピス・在宅ケア研究会 理事長 大頭信義 事務局長 黒田裕子
〒651-2109 神戸市西区前開南町1-2-1 阪神高齢者・障害者支援ネットワーク内
TEL 050-5532-8813 FAX 078-977-0224 URL <http://www.hospice.jp/index.html>